



【学習目標】

- 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようになる。
- 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。
- 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする。

【学習を進めるにあたって】

使用教材		
教科書	「国語六 創造」	(光村図書)
	「小学書写六年」	(日本文教出版)
副教材	漢字ドリル 漢字ドリルノート	(教育同人社)
	漢字の力だめし	(教育同人社)
	よむYOMUワークシート	(読売新聞社)

持ち物		
教科書	ノート	漢字ドリル
漢字ノート	国語辞典	漢字辞典
習字道具		

【学習の約束】

- 前日までに学習内容を読み、疑問に思うことに印をしたり、わからない言葉を調べる等予習をしてみましょう。
- 授業では、板書・気づいたこと等をノートに工夫して書きましょう。
- 積極的に発表して、考えを伝え合いましょう。
- ノートやプリントなどの提出期限を守りましょう。
- 学習の用意をわすれないようにしましょう。
- 次の学習の準備をしてから休みましょう。
- チャイムと同時に、授業を始められるようにしましょう。
- 呼ばれたら、大きな声ではっきりと返事をしましょう。
- 席をはなれる時は、いすを入れましょう。

がくしゅうないよう
【学習内容】(☆は書写) しよしゃ

ぜん 期	こう 期
<p>○つないで、つないで、一つのお話</p> <p>○準備</p> <p>○伝わるかな、好きな食べ物</p> <p>1. 帰り道</p> <p>2. 笑うから楽しい／時計の時間と心の時間</p> <p>3. たのしみは／天地の文</p> <p>4. デジタル機器と私たち</p> <p>○私と本／星空を届けたい</p> <p>○せんねん まんねん／名づけられた葉</p> <p>5. やまなし／イーハトーヴの夢</p>	<p>☆書くしせいと用具のあつかい方</p> <p>☆字形を整えるポイント</p> <p>☆部分の組み立て方「仲間」</p> <p>☆三つの部分の組み立て方①「湖」</p> <p>☆三つの部分の組み立て方②</p> <p>☆まちがえやすい筆順</p> <p>☆点画のつながりと筆順「飛ぶ」</p> <p>☆行の中心と字間・行間</p> <p>☆文字の大きさと余白「名月や…」</p>
	<p>6. みんなで楽しく過ごすために／伝えるにいいことを伝える</p> <p>7. 『鳥獣戯画』を読む</p> <p>○発見、日本文化のみりよく</p> <p>8. ぼくのブック・ウーマン</p> <p>9. おすすめパンフレットを作ろう</p> <p>10. 「考える」とは</p> <p>11. 大切にしたい言葉</p> <p>12. 私は、ぼくは</p> <p>13. 海の命</p> <p>○中学校へつなげよう／生きる／今、あなたに考えてほしいこと</p>

ひょうか かんてん ばめん ほうほう
【評価の観点および場面・方法】

ひょうか かんてん 評価の観点		ひょうか ばめん ほうほう 評価の場面・方法
・ 技 能	知識 ことば 言葉	文字を丁寧に書く。(書写)
		習った漢字を正しく書く。
		ことばのきまりが分かる。
・ 思考 表現・判断	話す 聞く 書く 読む	筋道をはっきりさせて話す。
		思いや考えが伝わるように音読する。
		話し手の意図を考えながら聞く。
		自分の考えや行動を豊かに表現する。
取 組 主体的に学習に 態度	態度	主体的に国語の学習にとりくむ。
		・進んで読書をし、言葉をよりよく使おうとしている。 ・言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを を広げようとしていたりしている。